

プログラム（第3日目） 12月3日（火）

《 口 演 》

7：00～8：00 モーニングセミナー3 がん遺伝子パネル検査とがんゲノム医療の実施

座長 夏目 敦至

共催 中外製薬株式会社

「次世代シーケンサーを用いたがん遺伝子パネル検査の実装」

近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室 坂井 和子

「がんゲノム医療の実際およびドライバー遺伝子に応じた治療戦略」

近畿大学 医学部 内科学教室 腫瘍内科部門 武田 真幸

8：00～8：30 星野賞授与式・受賞記念講演

座長 永井 政勝

「日本脳腫瘍学会の恩人 故 星野孝夫教授のご業績」

一般社団法人巨樹の会 五反田リハビリテーション病院 松谷 雅生

座長 荒川 芳輝

「星野賞受賞記念講演」

星野賞受賞者

8：30～9：00 教育講演1 Neuro-Oncology 研究者への道

座長 藤巻 高光

「Building a career in neuro-oncology research」

Webster K. Cavenee

The Ludwig Institute for Cancer Research/ University of California San Diego, U.S.A.

9：00～10：00 シンポジウム4 Molecular Pathology

座長 植木 敬介、吉本 幸司

【基調講演】

S4-1(KL) 成人神経膠腫のWHO分類：next updateへ向けて

東京都立神経病院 検査科 小森 隆司

【TSA受賞】

S4-2 Chromosomal instability、乏突起膠腫様病理像を呈した BRAF V600E 変異陽性神経膠腫

埼玉県立小児医療センター 血液腫瘍科 福岡 講平

- S4-3 IDH 変異型腫瘍における TERT 変異の分子マーカーとしての意義の検討
 国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 有田 英之
- S4-4 髄芽腫の病理学的再検討：JPMNG の病理中央診断に基づいて
 埼玉医科大学 病理学 佐々木 惇
- S4-5 LRG1 は膠芽腫の臨床病理学的マルチバイオマーカーである
 久留米大学 病理学講座 古田 拓也
- S4-6 カルムスチン脳内留置用剤留置後脳組織浸潤マクロファージの病理学的検討
 北里大学 医学部 脳神経外科 柴原 一陽

10 : 00 ~ 10 : 55 特別講演 3

座長 永根 基雄
 「Primary CNS Lymphoma: Current Concepts and Therapeutic Perspectives」
 Christian Grommes
 Department of Neurology, Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, U.S.A.

10 : 55 ~ 12 : 00 シンポジウム 5 (英語) PCNSL

座長 伊豆津 宏二、三島 一彦

【基調講演】

- S5-1 (KL) びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の治療の現状と二次性中枢神経リンパ腫の予防・治療 **日本語**
 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 伊豆津宏二

【TSA 受賞】

- S5-2 NF-KB 経路の活性化は解糖系亢進を通じて中枢神経原発悪性リンパ腫形成を促進する
 横浜市立大学 医学部 脳神経外科 立石 健祐
- S5-3 脳悪性リンパ腫に対する HD-MTX 療法と R-MPV 療法の比較
 宮城県立がんセンター 脳神経外科 長南 雅志
- S5-4 初発高齢者中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する維持化学療法の意義
 埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 三島 一彦
- S5-5 二次性中枢神経系悪性リンパ腫に対する R-MPV-A 療法の治療成績
 杏林大学大学院 医学研究科 佐々木重嘉
- S5-6 中枢神経リンパ腫の診断における cell free DNA 中 MYD88 変異解析の有用性
 新潟大学脳研究所 脳神経外科 棗田 学

12:00～13:00 ランチョンセミナー3 【領域講習】

座長 武笠 晃丈
共催 日本化薬株式会社

「がんゲノム医療：研究から臨床へ」

東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス分野 油谷 浩幸

13:00～14:00 教育講演2 臨床研究法・臨床試験 【領域講習】

座長 成田 善孝

「臨床研究法時代の研究者主導試験のトレンドと研究立案のポイント」

国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 研究企画推進部 中村 健一

14:00～14:05 閉会の辞

第37回日本脳腫瘍学会学術集会会長 永根 基雄